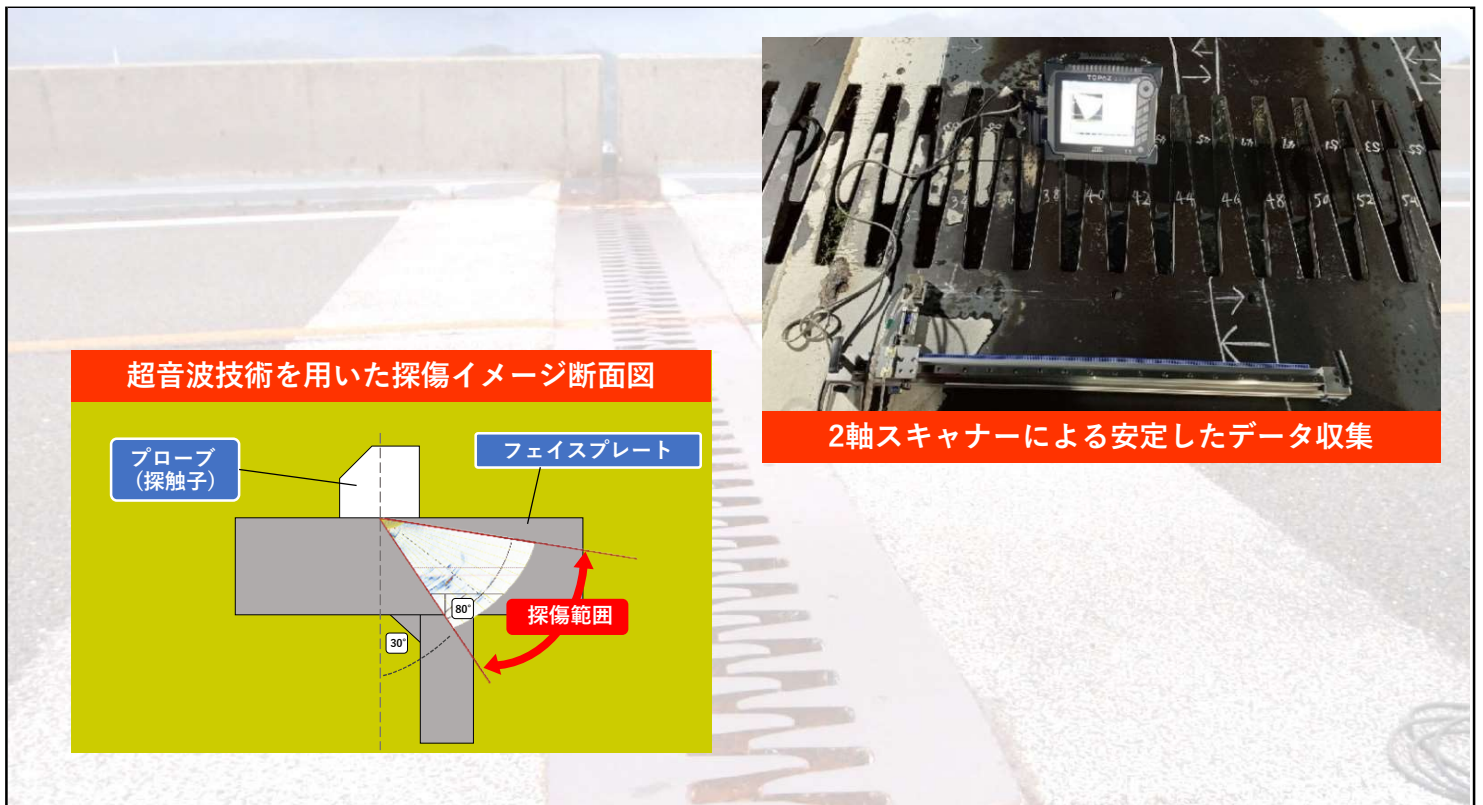


鋼製フィンガージョイント 劣化診断システム

超音波フェーズドアレイ技術を用いて潜在き裂を容易に発見

測定・点検



■調査対象

高強度材料を使用して板厚を抑えた箇所

平成15年(2003年)10月制定
「鋼製フィンガージョイント設計基準」

10月以前	10月以降
フェイスプレート板厚 基準なし	フェイスプレート板厚 100mm 未満×

※SM400B,Cから高強度のSM520Cに変更すると板厚を薄くできるが、作用応力が増加し疲労耐久性が問題となる。このことから板厚は100mmに固定することが望ましい。(設計要領 第二集 抜粋)

設計基準改定前に設計・建設された箇所



製品一覧

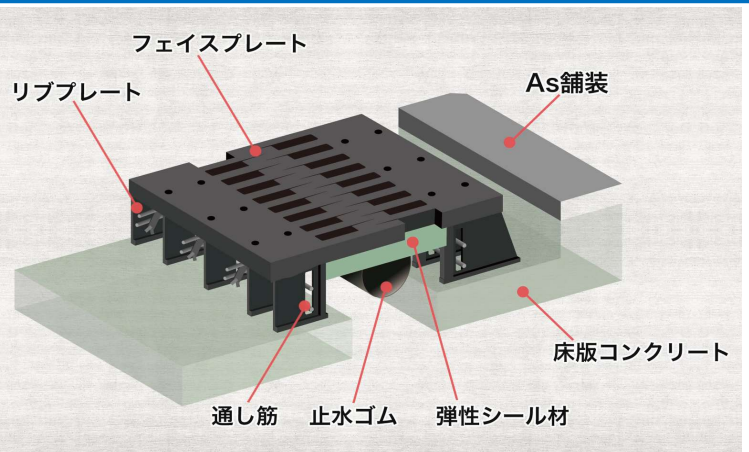
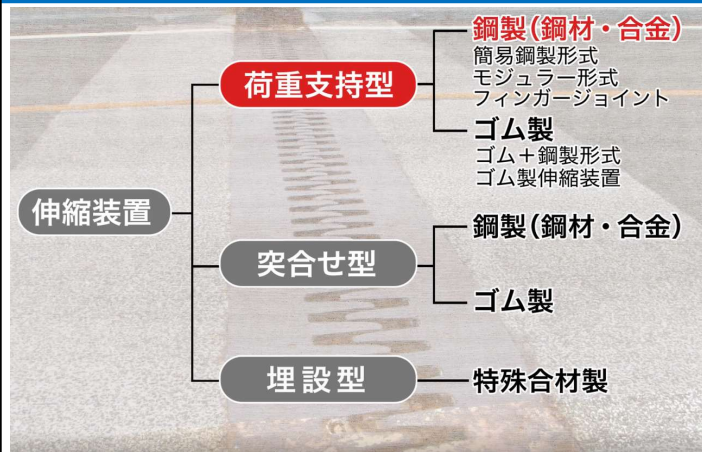
西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社

みち、ひと...未来へ。



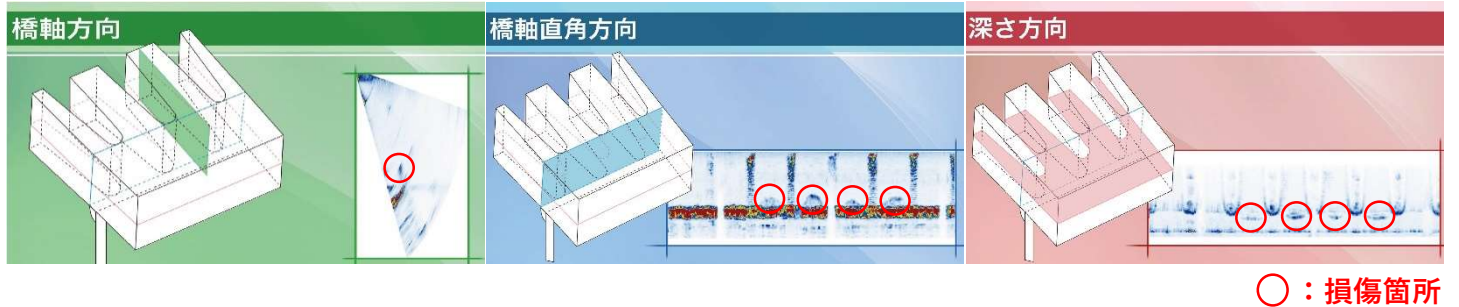
製品概要

1. 鋼製フィンガージョイントの種類と構造



2. 本システムの特長

- ・フィンガージョイント内部のき裂状況を可視化
- ・専用ソフトを用いることで、様々な角度から評価が可能



3. 調査方法

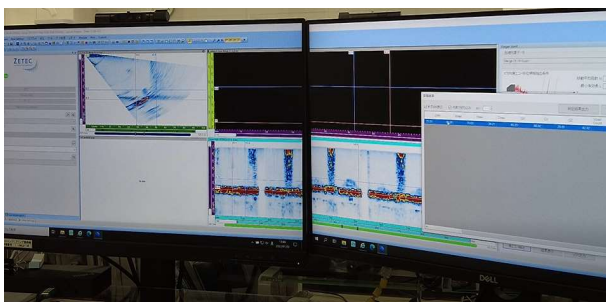
①測定機器の準備



②探傷治具をセット、左右へのスライドにより調査



③PCへデータを取込み



④き裂箇所を自動抽出

